

中野涼太

14期生一平成28年度卒
早稲田大学 先進理工学部 電気情報生命工学専攻



Life-changing Learnings



N O . 1 4

人生を変えた、学びの記憶。

志望校を東京大学に絞り、目標に向かってひたむきに努力を重ねる学生生活を送る。惜しくも東大合格は叶わなかったものの、早稲田大学にて情報技術を駆使し、医学の進歩に貢献する研究者を目指し研究に打ち込む。

志望校は、東大一本。

在学中は、潤沢な研究費で存分にやりたい研究に取り組めるという理由から東大一直線の高校生活でした。毎朝、数学の先生が教室の後ろの黒板に書いてくれた難しい数学の問題を解くのが日課でした。

多くの先生が「東大以外の国立なら必ず合格するから一ランク下げろ」とアドバイスしてくださいましたが、僕は最後まで東大を諦めませんでした。

できない理由は「環境」じゃない。
研究は自分を映す鏡だと気づいた。

残念ながら東大進学は叶いませんでしたが、現在は早稲田大学で生命情報科学についての研究を行っています。生命分野には DNA や RNA・タンパク質などの遺伝情報や、腸内・土壌内などにおける細菌叢の構成など多くのデータが蓄積されてきています。これらのデータを AI に学習させ、情報技術の分野からアプローチすることで、癌や遺伝子疾患の罹患リスクを解析したり、RNA の医薬品への転用などへ応用することができるようになります。

目的が曖昧なまま努力を重ねても前へ進むことはできない。研究の道は長いですが、研究者として世界に貢献できる功績を残せるよう、全力を尽くして頑張ります。